

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

(1) 招集所は、第4ゲートのスタンド下の通路に設ける。(補助競技場の連絡通路より入場する)

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。

(3) 招集の方法については、次の通りである。

①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。
トラック競技のみ腰ナンバー標識(2枚)を受け取る。

②代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、Eゲート(スポーツ公園カナル側)付近に設けるTIC(競技者案内所)に用意した書類で届け出る。

③招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。

3 ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、3枚配布する。(胸・背・手荷物用)(競技規則第143条7.8を厳守)

(2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を招集時に配布する。

(3) ナンバーカードとプログラムの配布については、次の時間帯に、TICで行う。

- | | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| ・ 25日(木) | 9:00~15:00 | ・ 26日(金) | 9:00~17:00 |
| ・ 27日(土) | 9:00~17:00 | ・ 28日(日) | 9:00~17:00 |

4 競技場内への入退場について

(1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。

(2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンとPECR(ポストイベントコントロールルーム)を通り退場する。なお、決勝において1~3位の競技者は、表彰者控え所に誘導する。

5 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

(1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、デイリープログラムに記載した順(棄権者を除いた競技者により大会前日のプログラム編成で決定)による。決定されたレーン順・試技順は、前日15時に番組編成掲示板(TIC横)に掲示する。

(2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、番組編成掲示板に掲示する。

(3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条2)

6 競技について

(1) トラック競技について

①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。

②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。

③短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。

④競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

⑤スターターの合図は英語とする。

(2) フィールド競技について

①投てき競技の計測はすべて光波距離計測器を使用する。

②跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカを2個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカを1つだけ使用することができる。

③棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後、位置を変更した

い場合は担当審判員に申し出る。

④フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

⑤三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。

(3) 競技者は、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用すること、または、勝手に競技場所を離れることはできない(競技規則第144条3(b)・4)。競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。

(4) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色(スタート動作時については黄黒色)カード、除外は赤色(スタート動作時については赤黒色)カードを示すことによって競技者に知らされる。

(5) 棄権する者は、本選手権大会規定の「棄権届」に必要事項を記入し、次の要領で届けること。届けずに棄権した者は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。

①大会第1日目【6月26日(金)】に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月24日(水)9時~15時までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。

②大会第2日目【6月27日(土)】に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月26日(金)9時~12時(正午)までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。

③大会第3日目【6月28日(日)】に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月27日(土)9時~12時(正午)までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。

《届け出先：3日間とも》デンカビッグスワンスタジアム内 新潟陸上競技協会事務局

※電話 025-257-7636、FAX 025-257-7691

④大会第2日目(6月27日)、大会第3日目(6月28日)の棄権届は、上記の日付と時間帯にTICでも受け付ける。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m28	2m31	2m34	2m37	3cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	1m92	2cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降		
棒高跳	男子	任意の高さ	5m00	5m20	5m30	5m40	5m50	5m60	5m65	5cm		
	女子	任意の高さ	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m15			

(2) 棒高跳の公式練習について

①棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻(競技開始90分前)以前には競技場所に入場できない。

②公式練習はゴムバーで行う。

③任意の高さ及びアップライトの位置で試技順に2回行う。

8 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストにない投てき物の持ち込みを認めるので、希望者は各競技開始3時間前から2時間前までにTICに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を提出する。受け付けた「投てき用具」については、「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後にTICで「預かり証」を確認のうえ返却する。

9 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は電光掲示板で行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合には15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者自身または代理人が、TICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、TICを通じてジュリーに文書で申し出る。

11 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰台で行う。
- (2) 各種目の1位の競技者には、選手権章と賞状とメダルを、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 4位から8位までに入賞した競技者には、その種目の正式結果発表後30分を経過してからPECRで賞状を渡す。
- (4) 最優秀選手男女各1名を表彰する。

12 ドーピングコントロールテストについて

(1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。

尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。

競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

(3) 未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。

①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロード出来る。

②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

13 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は、本競技場北サイドスタンド下が利用できる。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物についてはTICで保管する。保管期間は、6月28日競技会終了までとする。
- (7) 記録はその都度発表するが、TICに設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに300円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の固定展示は禁止する。
- (10) 送付された棒高跳ポールの受け渡しは、TICで指示する。また、棒高跳ポールの返送(有料)は、競技終了後、TICに申し出ること。

- (11) 競技者及びコーチには、受付時に大会主催者申し合わせ事項によりIDカードが渡される。コーチIDカードについては、参加者1名は1枚、2名から3名は2枚、4名から5名は3枚、6名以上は4枚とする。IDカードで行動できる範囲は、補助競技場・投てき練習場・観客席とするが、競技者は出場時のみ競技場内に入ることができる。IDカード使用者は、場内を移動する場合は必ずIDカードが確認できるように携帯する。
- (12) 提出書類は次の通りとする。

提出するもの		提出場所	提出時刻
①	棄権届	T I C	招集完了時刻まで
②	2種目同時出場届	同上	同上
③	投てき用具検査申請書	T I Cを通じて公式計測員に	競技開始2時間前
④	アップライト申告用紙	競技者係	点呼終了後すぐ
⑤	上訴申立書（預託金1万円）	T I C	競技規則第146条7による

14 練習会場の使用について（練習会場注意事項）

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。
- (5) 補助競技場での練習は、次の通りとする。
- ①競走路の使用は、原則として以下の通りとする。なお、逆走は禁止する。
- ・1～2レーン：中・長距離
 - ・3～6レーン：短距離（スタートダッシュはホームストレートスタート地点）
※第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路にかけての7～8レーンは除く。
 - ・7～8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
 - ・7～8レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル
- ②跳躍種目の全てが練習可能である。
- ③投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。ただし、競技注意事項に記載した時間以外は認めない。担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。

- (6) 練習会場使用日程は次の通りとする。

		6月25日（木）	6月26日（金）	6月27日（土）	6月28日（日）
本競技場		×	×	×	×
補助競技場	トラック・跳躍	10:00-17:00	8:00-19:00	8:00-19:00	8:00-17:35
	棒高跳	10:00-17:00	8:00-13:15(女子) 13:15-18:00(男子)	8:00-13:30(男子)	×
	砲丸投	10:00-17:00	8:00-19:00	8:00-11:40(女子) 11:40-18:00(男子)	8:00-12:30(男子)
	やり投	10:00-17:00	8:00-14:30(女子) 14:30-18:00(男子)	8:00-18:00	8:00-14:55(男子)
投てき練習場	円盤投	10:00-13:00	8:00-11:50(女子) 11:50-15:00(男子)	8:00-11:25(男子)	×
	ハンマー投	13:00-16:00	15:00-18:00	11:25-15:10(男子) 15:10-18:00(女子)	8:00-12:20(女子)

※スタート練習について

- ・スタート練習補助を、25日(木)補助競技場で新潟陸協競技役員スターターが下記の通り行う。

○11:00から1時間程度 ○14:00から1時間程度

- ※6月27日（土）、28日（日）はサブイベントの練習も同時に行っている時間帯があるので注意すること。